

開講年次・時期	1年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK220	科目名	児童館・放課後児童クラブの機能と運営	担当者名	棟方 梢
授業の概要	児童福祉法制定当時の経緯、児童福祉法に盛り込まれた健全育成の考え方、健全育成の具体的内容、現代の子どもの健全育成上の課題、遊びの健全育成上の意義を学ぶ。児童館の起源、施策の経緯、施設概要、施設規模別特徴、児童館の機能と運営上の留意点、児童館ガイドライン、児童館の課題と展望を学ぶ。また、放課後児童クラブの起源、施策の経緯、事業概要、活動内容と実施上の留意点、放課後児童クラブガイドライン、変化しつつある放課後児童クラブの課題を展望を概観する。				
科目の到達目標	児童福祉の基本理念である「健全育成」の考え方を理解するとともに、現代の子どもの健全育成上の課題について学ぶ。また、その理念を地域で具現化する児童館・放課後児童クラブの機能を理解する。				
DPの観点	⑤社会性(30) ⑥専門知識・技能(30) ⑧実践力(40)				
授業時間外学修（予習・復習）	各種法令やメディアを通して、全国各地の児童館や放課後児童会の事例や情報を得ること。毎回の授業内容について該当するテキストの箇所を15分程度予習・復習する。				
フィードバックの方法	提出課題やリアクションペーパーにコメントを付して返却				
単位認定の要件	授業活動、課題の発表、提出物を単位認定の条件とする。				
評価の方法・割合（％）	授業内活動60％、授業内提出物40％				
履修上の注意事項	「児童厚生2級指導員」取得のための必修科目である。				

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			児童福祉について知る	⑥	リアクションペーパー
2			児童福祉法の理念と健全育成	⑤⑥	リアクションペーパー
3			児童館・放課後児童クラブの変遷	⑤⑥	リアクションペーパー
4			児童館・放課後児童クラブの概要と特性	⑤⑥	リアクションペーパー
5			健全育成の具体的な内容と遊びの意味	⑤⑥	リアクションペーパー
6			児童館ガイドラインの内容と求められる機能①	⑤⑥	リアクションペーパー
7			児童館ガイドラインの内容と求められる機能②	⑤⑥	リアクションペーパー
8			放課後児童クラブガイドラインと改定後の基準	⑤⑥	リアクションペーパー
9			運営管理	⑤⑥	リアクションペーパー
10			安全対策	⑤⑥	リアクションペーパー
11			児童館・放課後児童クラブの環境構成	⑤⑥	リアクションペーパー
12			児童館・放課後児童クラブにおける障害児支援	⑤⑥	リアクションペーパー
13			児童厚生員・放課後児童指導員の職場倫理	⑤⑥	リアクションペーパー
14			児童館・放課後児童クラブの課題と展望①	⑤⑧	リアクションペーパー
15			児童館・放課後児童クラブの課題と展望②	⑤⑧	レポート
期末試験					

使用テキスト	『児童館論』（児童健全育成推進財団）
参考文献 参考URL	『ソーシャルワーク』（一般社団法人児童健全育成推進財団）
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--